

葦穂小学校・吉生小学校・柿岡小学校 統合再編に係る地区住民説明会 要旨

日時 令和3年10月7日（木） 午後7時から午後8時15分

場所 中央公民館 2階

執行部 児島教育長，豊崎部長，吉澤次長，朝賀参事，小沼教育総務課長，
須加野指導室長，小河原副参事，雨貝課長補佐，佐藤主幹

出席者 5名

次第

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 職員紹介
4. 統合再編計画に係る説明
資料
 - ・石岡市立小中学校統合再編計画
 - ・小中学校年度別将来推計（別紙）
5. 質疑応答
6. その他
7. 閉会

次第に沿って、4. 統合再編計画に係る説明まで行う

(参加者)

吉生小学校での説明会でも質問したが、総合再編に関して教育長の考えを伺いたい。

(教育長)

吉生小学校ではコロナ禍の中での統合について。統合の際の通学について。統合検討委員会を立ち上げてどういう方向でいつ統合を進めていくのかというご意見。今後のスケジュール。水泳の授業について、プールはどこを利用するのか。こういったご意見をいただきました。

方向性としては、答申にも示された複式学級の解消を優先にして統合再編を進めていく。計画に基づいて、令和6年の4月に葦穂小・吉生小・柿岡小の統合ということで進めていきたいと考えております。

(参加者)

計画どおり進めると受け止めてよろしいか。

(教育長)

計画通りに進めてまいりたいと考えております。保護者・地区の説明会を経て各校PTA本部役員合同での意見交換を行い、統合検討委員会を今年度中に立ち上げたい。その中で、スクールバスや学校のカリキュラム等の協議を行う専門部会も開催していきたいと考えております。

(参加者)

今後のスケジュールについて伺いたい。

(事務局)

11月に柿岡小地区を対象とした説明会を予定しております。その後、各校PTAや区長さんと相談させていただきながら、統合検討委員会という組織を立ち上げていきたいと考えております。各校のPTAの代表者、地域の代表者、校長先生にも入っていただき、統合する方向で意見がまとまった場合は、専門部会を組織し、より具体的な協議を行ってまいりたいと考えます。

(参加者)

タイムスケジュールについては決まっているのか。

(事務局)

今現在まだ計画の段階で、統合については決定しているものではないです。最終的な決定を統合検討委員会の中で行っていただくものと考えております。正式に統合の時期や場所が決まった後に、それに合わせたスケジュールを事務局でお示ししたいと思います。令和6年の4月に統合となった場合、令和4年度に修繕等の予算要求し、5年度に実施していきたいと考えます。

(参加者)

統合するのであればというのはどういうことなのか。

(事務局)

統合再編の計画はありますが、それを進めるには保護者や地域の方々のご理解とご協力がなければ進めていけないと考えます。保護者や地域の代表の方々と組織された統合検討委員会で統合する方向で意見がまとまれば、我々はそれを実行に向けて進めてまいります。

(参加者)

今現在も複式学級を抱えている学校がある。これからの石岡の未来を担っていく子どもたちの学習環境を整えるためには人数規模も必要になる。教育長自ら計画通りに進めるという言葉が無ければこの計画は進んでいかない。

(教育長)

協働的な学習や、学び合う、高め合う、主体的にといったことが求められており、答申でも示されている複式学級の解消をまずは図る。小規模、複式学級のデメリットを補うために学校では様々な工夫がされています。市でも TT 非常勤講師を配置したりといったことで、子どもたちが皆同じように学べる環境を出来るだけつくっていきえるように考えたい。

葦穂小・吉生小・柿岡小の3校では連携教育が数年前から進められています。現在ではオンラインや行事での交流も進めており、弱かった部分を補うといった取り組みがなされています。子どもたちひとりひとりを良く見てもらえるといったこともあるかもしれませんが、それだけでは、何か不足するものがあるかもしれない。多様な考え、価値観に触れ、自分で消化して新たな考え方を生み出していく。そういった教育がこれから必要になってくると思っております。3つの学校が一緒になることによって複式学級が解消され、学びの環境も確保されると考えております。

(参加者)

令和元年6月に策定された計画だが、進んでいないと感じる。

(事務局)

令和6年の4月の統合を目指して、保護者や地域の方々の理解と協力を得ながら進めてまいります。

(参加者)

令和6年4月の統合を目指すとのことだが、それに向けて様々な協議事項があると思う。小人数や複式学級のメリット、デメリットも丁寧に説明していく必要がある。そうして、統合することによって、子どもたちにより良い環境を与えられるといったことを理解してもらうのが良いだろう。

(参加者)

第2段階の統合については具体的なスケジュールなどは決まっていないのか。

(事務局)

4つの枠組みで複式学級の解消がなされた後に、小中一貫校の取り組みを進め、最後に八郷地区の第2段階の統合を進めてまいります。

(参加者)

統合に係る予算については確保出来ているのか。

(事務局)

令和6年4月の統合に間に合うように、色々な機会を通じてスケジュール面などの情報もお示し出来ればと思っております。

(参加者・葦穂小校長)

学校としては、お子さんをお預りしていかに良い所を伸ばしていくかといったことを考えております。再編計画にもあるように、保護者・地域との合意形成を基に計画が進められていけば良いと考えます。

(参加者)

統合の賛成・反対はどのように判断するのか。

(事務局)

統合検討委員会で決定していくものと考えております。

(参加者)

統合再編計画のアンケートには統合について理解出来るとの意見が多数である。また、統合後の跡地の問題については、市全体で考えなければいけない。

(教育部長)

本日は、たくさんの貴重なご意見をいただきありがとうございます。令和6年4月の開校を目指していますが、出来るだけ早くスケジュールに関してお示ししていければと考えております。

跡地活用に関してですが、既に廃校となった旧城南中と旧有明中については活用方法が決まっております。市全体で検討を行う組織で、これから統合によって廃校になる学校や公共施設も含めて考えてまいりたいと思っております。

(教育長)

本日は基本計画等の説明をさせていただきました。お越しいただいた皆さまから貴重なご意見をいただけたこと、心より感謝申し上げます。

新しい学校づくりの議論には一定の期間を要するものとなります。継続的な議論を積み重ねて行きながら、学校・保護者・地域・行政で合意形成を図り、関係をより強固にしていくことが今後のより良い学校づくりに繋がると感じております。

先ほどもご意見いただいた、統合して良かったと思える。やはりここに尽きるのではないかと感じております。統合はとても大きな事業であると考えます。その中で、廃校になる学校も出て来てしまう。学校は長い間コミュニティの中心であり、地域に根差してきたという大きな役割がございます。3つの学校文化をどう統合させていくのか。また新たな学習形態、カリキュラムをどのようにしていくのか。通学の問題。スクールバスはどうするのか。安全対策はどうするのか。予算の確保も含め、これらを教育委員会及び、全庁を挙げて取り組んでいき、令和6年4月の統合を目指して進んでいきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。